

【令和4年度 授業改善推進プラン】

板橋区立高島第五小学校

【図画工作】

<p>■児童の状況</p>	<p>【低学年】 様々な材料に触れ感覚を働かせながら、意欲的に制作に取り組むことができている。初めて見る材料や道具に興味・関心を持ち、扱い方や特性などをしっかり学び、安全に気をつけて使用ができている。</p> <p>【中学年】 経験してきた活動を生かしながら、意欲的に作品の制作に取り組むことができている。今まで使用してきた道具や材料の使い方をよく考え、表し方や使い方を工夫するなど、創造的な活動をしている。自身の思いをイメージし、形に表していくのが難しい児童もいる。</p> <p>【高学年】 既習の道具や材料の使い方を応用し、題材に生かすことができている。また題材によって描画材や基底材を選択し、自身の表現にあったものを選択することができる。考えを深め、試行錯誤していくことが苦手な児童もいる。</p>
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学年のつながりがあるような題材設定をしているが、これまでの経験とつながっていない場合があり、題材設定の仕方や導入を工夫していく必要がある。 ・題材に対して考えを深め、試行錯誤していくことにかんしては、まだまだ指導をしていく必要がある。それぞれが夢中になれるテーマを設定できるように工夫をしていく。 ・道具を安全に扱えるように、学年ごとに基礎的なことを見直し、既習したことを振り返って行く必要がある。 ・児童一人一人に応じて、材料や道具選択ができるように環境を整え、自己肯定感や達成感を高めていく必要がある。
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度までの経験を振り返れるように、教室内に経験を視覚的に振り返れるように掲示しておくことや、題材設定の際に既習したことを振り返れるように、活動をしていく。 ・児童それぞれが題材に対して考えを深め、試行錯誤をしていけるように、題材導入時の言葉かけの工夫や、活動が停滞している児童に対しての声かけや適切な支援や指導を工夫していく。 ・児童が表現の工夫や、自分自身の表現したいことができるように材料コーナーを常設したり、様々な道具の場所がわかるように表示をしたりしていく。 ・安全な道具の扱い方ができるように、道具の扱い方の掲示をしたり、扱う際に注意点の確認をしたりしていく。

